

Inter BEE

International Broadcast Equipment Exhibition

トラフィック・シム

多種多点同録ユニット【TORUBE】×マルチシンクロビューア

■新製品の発売に至るまで

トラフィック・シム社ではフルTS法定同録システムを筆頭に、MPEG-2TSやTS over IPの短期間同録などのラインナップを持ち、全国各地でシステムが稼働している。

今回の新製品【TORUBE】とマルチシンクロビューアは、TBSテレビとの協力により生まれた。シンプルかつ利便性の高い製品とするため、製品の方向として下記4つを軸として開発に着手した。

- ・ 様々な信号を統一フォーマットで同録できること。
- ・ PC上で複数ポイントの同時再生し、各々の遅延時間も調整でき、かつレイアウトフリーであること。
- ・ SDI信号のVANCデータを含めた同録と、VANCに重畳している「字幕データ」などの表示機能。
- ・ 汎用性の高い設計であること。

結果、【TORUBE】とマルチシンクロビューアは次の機能を持つ製品となった。

■1台でも活用可能なTORUBE。簡易プレビューソフトも標準装備

TORUBEは2011年10月現在、TS信号・RF信号・SDI信号・NTSC信号の入力に対応している。HDDを内蔵しており、約1週間(収録レートにより変動)のデータを同録し、TORUBEのWebブラウザ画面からダウンロードすることで使用可能な専用の簡易プレビューソフトにてデータの確認が可能。

この様に、ユニット1台で「録る」「確認する」が実現可能なユニットになっている。

TORUBEが複数台ある場合には、マルチシンクロビューアをインストールしたPCと同一ネットワーク上に設置することで、映像取得ユニットとして機能し、マルチシンクロビューアからの要求に対し、リアルタイム配信や過去のデータをマルチシンクロビューアへ送る。

この様に、ユニットが複数台ある場合は、LAN ケーブルさえ繋がっていただければ TORUBE の設置場所は選ばない。

■リアルタイム再生に加え、全ユニット同期再生、コマ送り/コマ戻し、VANC表示も可能

マルチシンクロビューアは、画面レイアウトフリーはもちろんのこと、【TORUBE】と連携し全ユニットを同期させて再生することもできる。

また、指定したユニットからの信号のみをコマ送りや、全ユニットでコマ送りやコマ戻しといったトリックプレイも可能。

これにより障害発生時の切り分けに大きく貢献できる。音声バーの表示や字幕の表示などの機能に加え、選択したユニットからの信号のみを拡大表示や、複数のユニットを接続しておき選択したユニットの追加と削除も簡単に設定変更できる。

また、マルチシンクロビューア上にVANC表示オプションがあれば、字幕データやベータデータの表示も可能である。

■TORUBEの今後について

現在の入力信号のラインナップに加え、ISDB-S対応版やQAM対応版、TS over IP対応版も早々に登場が予定されている。

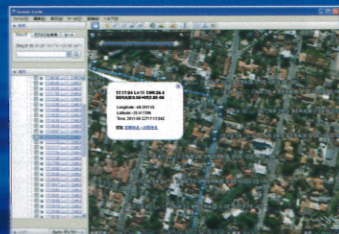
世界にはばたく日本方式

南米、フィリピンの調査に最適! ISDB-Tb/ブラジル対応

ポータブルTSレコーディングアナライザ
HACOBÉ ハコベ
ISDB-T/b
ISDB-S
J.83 AnnexC



▲コンスタレーション画面
日本ではあまり見かけない16QAM+QPSK



▲現地テレビ局のご協力により、フィールド受信テスト
(ブラジル・クリチバにて)
結果をGoogle Earthで表示した例



▲サンパウロ市内で
室内アンテナによる受信
(18局検出)

Traffic Sim co.,Ltd. 株式会社トラフィック・シム
〒460-0008 名古屋市中区栄1-31-41 大井ビル2F TEL052-526-5162 tsadv@TrafficSim.co.jp

<http://www.TrafficSim.co.jp/>

●Google Earthは、Google,Inc.の商標です。